

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 6年 1月 18日

公表 令和 6年 1月31日

所名 放課後等デイサービスくる3

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		活動に合わせて、環境設定をしています。	デイルームが区切られていると良い。事務所の移動や物の配置を検討しています。
	2 職員の配置数は適切である	○			
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		怪我のないようマットを敷いています。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		職員会議やランチミーティングで話し合いを持つようになっています。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		開所して1年経過するため今回初めて公開します。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者による外部評価を行いたいと思っているが、具体的な動きに繋がっていません。
適切な支援の提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		外部から講師を招いて職員研修を行ったり、研修会に参加しています。	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		定期的に保護者と面談を行っています。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		子どもの様子をよく観察し、評価しながら活動内容を展開しています。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		製作やSST、自立訓練を日替わりで取り入れています。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		利用時間に合わせて活動を組んでいます。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○		週に2回、集団活動を取り入れており、子どもの社会性を向上させるために、今後も計画、設定していきたいと考えています。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		業務日報の記入を行っています。時間の使い方を工夫し、次回の活動に繋がるような話し合いを心がけています。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		記録、口頭をもとに評価、反省に心がけています。支援方法についても話し合い、見直すようになっています。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		・職員会議にて、子どもの様子を報告、検討しています。 ・相談支援事業所等と連絡を取り、意見を伺っています。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○				

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		学校との情報共有を行っています。職員は送迎時に先生と話し、学校や子どもの情報を共有しています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		医療的ケア児の受け入れを行っていません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		実施しています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		これまで15～18歳までの方の支援の経験がありません。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		通級指導が必要な児などについて指導を受けています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○			
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		自立支援協議会のこども部会に参加しています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		保護者との連携(連絡帳・送迎時)を取っています。職員と保護者で子どもの様子を常に把握できるよう努めています。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○			
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に行っています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		面談や連絡帳で行っています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		実施に至っていません。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		送迎時に、保護者と話をすることを日頃から心がけています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		お便りを発行し、活動の概要、写真を発信しています。	
	35	個人情報に十分注意している	○		個人情報の取り扱いは、職員間で注意しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		連絡帳を使い、情報の伝達を行っています。子どもには、ホワイトボードを活用しています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っている		○		実施に至っていません。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		9月に火災、12月に地震の避難訓練を行っています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		令和5年4月に虐待防止研修を受けています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		ホームページ等に、身体拘束等適正化のための指針を公開しています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		医師の意見書は求めたことはありません。今後は、必要に応じて検討していきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			月に1回、職員会議で共有しています。さらに月に1回、幹部会でも共有し、事業所全体での共有を行っています。